

卒園式の季節になりました。

長い長い保育園生活でしたか？あつという間でしたか？

送り迎えが無くなることはもしかしたら寂しくなる事なのかもしれません。

子どもをとりまく、保育士やクラスの保護者同士のコミュニケーションも

クラスを越えた交流もいろんな形でつながっていくと良いですね。

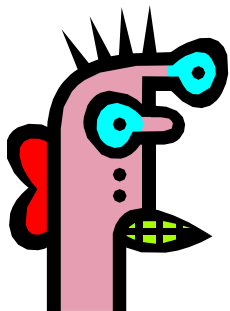
私たちのためにも子ども達のためにも。

1. 「公立保育園改革」議会陳情の結果報告

組合は妥結してしまっても、父母としては納得できるものではないし、計画そのモノに不安がある。

今回のことは市と組合の問題ではなく、私たちの子どもの問題。

ということで今回の公立保育園改革のことで父母の皆さんから議会への陳情が5本掛かっていたわけですが…



「安心と安全に配慮した市立保育園改革に関する陳情」

- ・ 改革実施後も園児の保護者を初め、市民からリサーチ、アンケート、面接調査などを通じて、意見要望を募り、今後の改革に生かすこと
- ・ 改革から一定期間後に、市立保育園を利用するすべての子どもの安全と、保護者の安心に配慮した立場から、保育園職員の配置の再検討を行うこと

⇒意見付き採択

意見【 陳情文中の具体的な文言は別として、主旨に沿うよう努力されたい 】

「武蔵野市立保育園における人員削減に伴う、臨時職員の諸待遇等に関する陳情」

- ・ 改革に関する市側の説明には職員や保護者のほとんどが納得していない。これは職員及び保護者を除外・無視して検討を推進した結果である
- ・ 今後は発案時より市立保育園の職員と保護者も参加させること

⇒不採択

「公立保育園改革に関する陳情」

- ・ 公立保育園の改革を中止し、市役所自体の行政改革に取り組むこと

⇒不採択

「公立保育園改革計画の見直しに関する陳情」

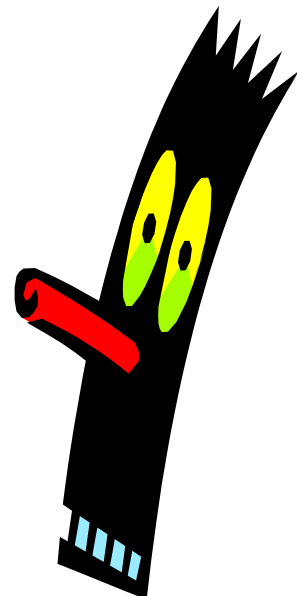
- ・ 今回の改革計画には保育の質を高めることは勘案されておらず、公立保育園の保育の質の低下は武蔵野市全体の保育の質の低下となるので計画の見直しを求める

⇒不採択

「公立保育園改革計画の実施に関する陳情」

- ・ 計画の具体的な実施に当たっては各園ごとに行政、現場職員、子どもの代弁者としての保護者の三者による意見交換を経た上で、適切に人員配置をすることを求める

⇒不採択



2. 出来ることが、まだ一杯あるよね。

文教委員会の結果は受け止めるしかありません。
受け止めて、今度は私たちなりの答えを出しましょう。



さて、それより前に、これからどうするか？
だって自分たちの子どもの毎日の生活のことですから。

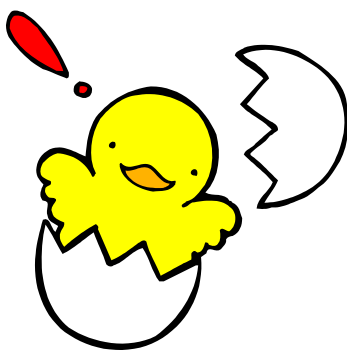
まずは自分の子どものことをもつと保育士と話してみましようか。
そしたら、クラスの子どものことをみんなで話してみましようか。
そしたらそしたら、園全体の子どものことをみんなで話してみましようか。



3. 第4期長期計画のこと ←これも出来ること!!

武蔵野市では、市政の計画的運営を図るため、昭和46年以来、
計画期間を12年（第一期は10年）とする長期計画を策定するとともに、
これを4年ごとに改定するローリング方式を採用しています。

（第3期長期計画第2次調整計画より）



第4期長期計画は平成17年度からスタートします。
平成16年度は第4期長期計画の策定年度にあたり、すでに
策定に向けた準備がはじまっています。
もうすぐ私たちが意見を言える機会がやってきます。
ほかの人たちに意見や思いを伝えることって楽しいですよ。

保育園では、子どもたちも毎日そうやって成長しているんじゃないかな。

武蔵野市保育園父母会連合会

ありんこ保育園 北町保育園 吉祥寺保育園 境南保育園 境南第2保育園 境保育園 桜堤保育園
精華保育園 千川保育園 西久保保育園 東保育園 南保育園 武蔵野赤十字保育園

以上13園の父母会（あいうえお順）